

## 瀬戸内町請島方言の動詞活用資料

白田理人（志學館大学）・重野裕美（広島経済大学）

### 1 はじめに

本稿は、奄美大島の南の島嶼部に位置する請島（図 1 参照）の池地集落（鹿児島県大島郡瀬戸内町）で話される方言（以降池地方言と呼ぶ）を対象とし、動詞活用の資料を提示する。本稿で使用するデータは、池地集落出身の福原哲二氏<sup>i</sup>への執筆者による面接調査に基づいている<sup>ii</sup>。

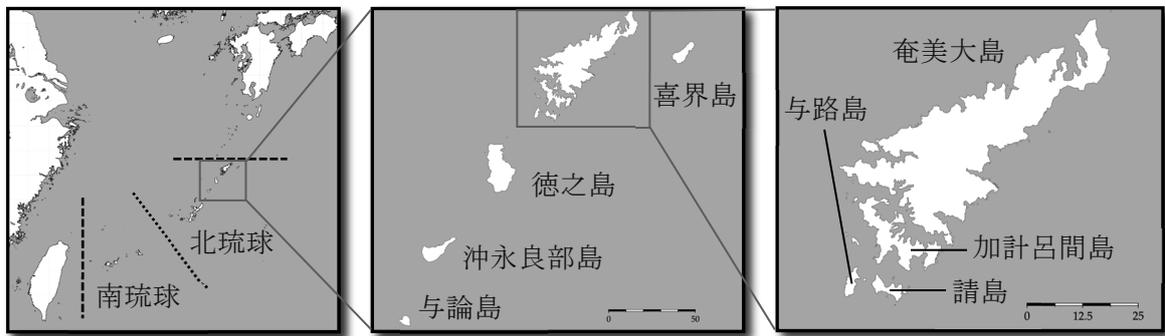
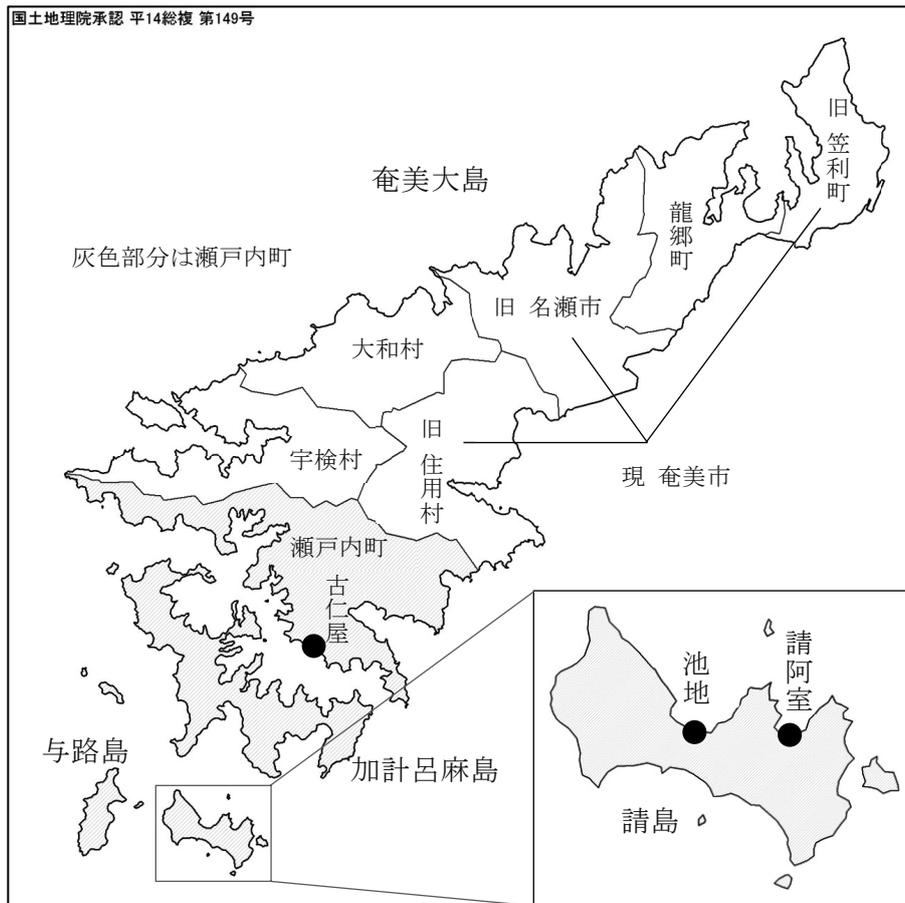


図 1 請島の位置<sup>iii</sup>

### 2 鹿児島県大島郡瀬戸内町請島の概要

瀬戸内町（図 2 参照）は、鹿児島市の南方約 420km の洋上に浮かぶ奄美大島の最南端に位置し、大島海峡をはさんで加計呂麻島、請島、与路島を含む、総面積 239.65 平方キロメートルに及ぶ行政区域を有している。請島の総面積は 13.34 キロ平方メートルで、請阿室と池地の 2 つの集落がある。請島へは、奄美大島の古仁屋港から、請島請阿室港・池地港を経由して与路島与路港に至る町営定期船「せとなみ」が一日一往復しているほか、海上タクシーも利用可能である。請島は奄美大島と同じく、ハブや天然記念物のルリカケスが生息している。また、奄美大島から徳之島にかけて分布している希少なウケユリ、固有亜種であるウケジママルバネクワガタも生息しており、保護活動もなされている。

令和元（2019）年 8 月時点での請島の池地集落の人口（世帯数）は 52 人（35 世帯）、請阿室集落は 40 人（29 世帯）である（瀬戸内町 2019 参照）。

図 2 瀬戸内町・請島周辺図<sup>iv</sup>

### 3 請島の方言の概要

瀬戸内町請島方言とは、ここでは、鹿児島県の奄美群島に属する請島で話されている地域言語のことをさす。請阿室方言は、UNESCO の Atlas of the World's language in Danger にあげられた奄美語のなかの一つの下位方言である。奄美語は、UNESCO のリストによると、「危険」と判定されている。請島には方言母語話者は存在するが、人の流出が激しく、高齢化の進んだ限界集落となっている。

小中学校や簡易郵便局などは池地集落にある。池地小学校は併設されている中学校と合わせも 2004 年からは児童・生徒数も一桁台となり、休校となっていた。しかしながら、2017 年 4 月から地元出身の 2 家族が帰郷したことをきっかけに 3 年ぶりに再開している（「西日本新聞」2017 年 1 月 3 日掲載）。行事においても言語においても継承する若い人がいない状況である。

請島方言に関する先行研究として、池地集落出身の方言研究者である春日正三氏による音声・音韻・文法面にわたる一連の研究（春日 1961, 1962, 1974）の他、中舌母音に関する大野（2014a, b）、形態音韻論的交替に関する白田・重野（2017）がある。

池地方言も含め、瀬戸内町の諸方言の特徴として、音節末子音が後続子音と同器官的 (homorganic) ないわゆる促音・撥音に限られず、調音点・調音方法の異なる様々な子音の連続が観察される。本報告が主眼とする動詞の活用形の中では、子音語幹動詞に禁止接辞／条件接辞／目的接辞が後接する場合に子音連続が生じる (表1 四角内参照)。なお、語幹末が重子音もしくは子音連続の場合は、形態素境界に母音が現れる (表1 二重四角内参照)。

表 1 子音語幹動詞非過去形／禁止形／条件形／目的形語例

語幹末		意味	非過去形 「～する」	禁止形 「～するな」	条件形 「～すれば」	目的形 「～しに」
単子音	b	飛ぶ	tubjum	tub <sup>□</sup> ŋa	tub <sup>□</sup> ba	—
	m	飲む	numjum	num <sup>□</sup> na	num <sup>□</sup> ba	num <sup>□</sup> ga
	t	打つ	ufjum	uf <sup>□</sup> na	uf <sup>□</sup> ba	uf <sup>□</sup> ga
	s	干す	φufjum	φus <sup>□</sup> na	φus <sup>□</sup> ba	φus <sup>□</sup> ga
	k	焼く	jakjum	jak <sup>□</sup> na	jak <sup>□</sup> ba	jak <sup>□</sup> ga
	g	漕ぐ	kugjum	kug <sup>□</sup> na	kug <sup>□</sup> ba	kug <sup>□</sup> ga
重子音／ 子音連続	mm	頼む	tammjum	tamm <sup>□</sup> na	tamm <sup>□</sup> ba	tamm <sup>□</sup> ga
	ŋg	握る	mingjum	ming <sup>□</sup> na	ming <sup>□</sup> ba	—

池地方言の特徴として、形態素境界において母音の高さが交替する現象が見られる。まず、r 語幹動詞及び母音語幹動詞のうち前舌母音／中舌母音を語幹末に持つ動詞では、語幹末母音の高さによって非過去接辞／意志勧誘接辞／命令接辞の母音の高さが交替する (表2 参照、四角内は語幹末母音、二重四角内は交替する母音)。

表 2 r／前舌母音／中舌母音語幹動詞非過去形／意志勧誘形／命令形語例

語幹末		意味	非過去形 「～する」	意志勧誘形 「～しよう」	命令形 「～しろ」
狭母音+r	ir	見る	m <sup>□</sup> ir <sup>□</sup> um	m <sup>□</sup> ir <sup>□</sup> u	m <sup>□</sup> ir <sup>□</sup>
	īr	蹴る	k <sup>□</sup> īr <sup>□</sup> um	k <sup>□</sup> īr <sup>□</sup> u	k <sup>□</sup> īr <sup>□</sup>
	ur	売る	ur <sup>□</sup> um	ur <sup>□</sup> u	ur <sup>□</sup>
半狭母音+r	er	もらう	j <sup>□</sup> er <sup>□</sup> om	j <sup>□</sup> er <sup>□</sup> o	j <sup>□</sup> er <sup>□</sup> ē
	or	乗る	n <sup>□</sup> or <sup>□</sup> om	n <sup>□</sup> or <sup>□</sup> o	n <sup>□</sup> or <sup>□</sup> ē
広母音+r	ar	割る	w <sup>□</sup> ar <sup>□</sup> om	w <sup>□</sup> ar <sup>□</sup> o	w <sup>□</sup> ar <sup>□</sup> ē
前舌／中舌 狭母音	i	出る	id <sup>□</sup> 3 <sup>□</sup> ir <sup>□</sup> um	id <sup>□</sup> 3 <sup>□</sup> ir <sup>□</sup> u	id <sup>□</sup> 3 <sup>□</sup> ir <sup>□</sup>
	ī	降りる	ur <sup>□</sup> īr <sup>□</sup> um	ur <sup>□</sup> īr <sup>□</sup> u	ur <sup>□</sup> īr <sup>□</sup>
前舌／中舌 半狭母音	e:	痩せる	j <sup>□</sup> e: <sup>□</sup> om	j <sup>□</sup> e: <sup>□</sup> o	j <sup>□</sup> e: <sup>□</sup> ē
	ë:	開ける	ë: <sup>□</sup> om	ë: <sup>□</sup> o	ë: <sup>□</sup> ē

次に、後舌母音(u/o/a)を語幹末に持つ動詞では、非過去接辞の母音が語幹末母音によって交替を示すのに加え、意志勧誘形／命令形では語幹末母音と接辞の母音が融合し、生じた母音に応じて先行する母音の高さが交替する（表3参照、四角内は語幹末母音またはこれに接辞が融合したもの、二重四角内は交替を示す母音）。

表3 後舌母音語幹動詞非過去形／意志勧誘形／命令形語例

語幹末		意味	非過去形 「～する」	意志勧誘形 「～しよう」	命令形 「～しろ」
後舌狭母音	u:	閉める	k <sup>u</sup> u:um	k <sup>u</sup> u:	k <sup>w</sup> wi:
後舌半狭母音	o:	買う	ko:ju:m	ko:	kw <sup>e</sup> e:
後舌広母音	a+子音+a	洗う	ara <sup>a</sup> um	aro	ar <sup>e</sup>
	i+子音+a	拾う	ci <sup>i</sup> riju:m	ci <sup>i</sup> rijo	he <sup>e</sup> ri <sup>e</sup>
	i+子音+a	使う	ti <sup>i</sup> ka <sup>a</sup> um	ti <sup>i</sup> ko	te <sup>e</sup> ke <sup>e</sup>
	u+子音+a	歌う	u <sup>u</sup> ta <sup>a</sup> um	u <sup>u</sup> to	o <sup>o</sup> te <sup>e</sup>
寄り合う		ju <sup>u</sup> ri <sup>i</sup> ju:m	ju <sup>u</sup> rijo	jo <sup>o</sup> ri <sup>e</sup>	

- i 大正12(1923)年生まれ、20代半ばまで池地在住、現在古仁屋(奄美大島)在住。
- ii JSPS 科研費 JP15K16754「与路島・請島を中心とした奄美大島方言の記述的研究」の助成を受けている。
- iii 国土地理院発行の地図データをもとに Thomas Pellard 氏(フランス国立科学研究所)が作成した地図を用いている。
- iv 地図作成ソフト白地図 KenMap で作成した地図を用いている。

## 参考文献

- 大野眞男(2004a)「北奄美周辺方言の音韻の特徴」『岩手大学教育学部研究年報』63:51-70.  
 (2004b)「一つ仮名弁ではない奄美北部方言の歴史的 성격」『音声研究』8(1):109-120.
- 春日正三(1961)「請島(本島南部方言)」東条操(監修)『方言学講座 第四卷 九州・琉球方言』pp.321-333, 東京堂:東京.  
 (1962)「請島方言の音韻」『立正大学文学部論叢』14:50-66.  
 (1964)「請島方言の助詞一」『立正大学文学部論叢』30:25-47.  
 (1974)「奄美大島方言の研究—請島・池地方言の音節について—」永山一勇博士退官記念会(編)『国語国文学論集』pp.564-547, 風間書房:東京.
- 白田理人・重野裕美(2017)「北琉球奄美請島請阿室方言の音韻スケッチ—形態音韻論的交替を中心に—」『琉球の方言』41, pp.165-204, 東京.
- 瀬戸内町(2019)「人口世帯集計表(令和元年8月末現在)」『鹿児島県大島郡瀬戸内町』  
 〈<http://www.town.setouchi.lg.jp/koseki/cho/chosei/jinkou/documents/jinkou201908.pdf>〉,  
 (2020年2月11日参照)

	瀬戸内町請島 2019年11月30日、2019年12月14日、2020年1月11日、2020年1月12日調査 福原哲二氏 (T12. 9. 1生)、池地出身 (古仁屋在住)、97歳M	
1-1	※どこでも男が舟を漕ぐ。	da:nantim jingadu funija kugjun
2	若いときはみんなで舟を漕いだ。	wa:sarijɲa gottoji funi kugjutado:
2-1	※私は昨日船を漕いだ	wanna kʔiɲu funi kudzado:
3	今でも女は舟を漕がない。	namadim unakka funi kugandija:
4-1	※今日は手が痛いので、舟は漕げない。	kju:ja tin jadi funija kugikʔirjando:
5-1	※病気が治ったから、舟を漕げる。	bjoknu no:taɲkaran funi kugariddo:
6	明日も海へ行く。	aɬam umiɬ ikjuddo:
7	父は天気が悪いときは海へは行かない。	ɬʔanna tɛɲkʔin wassarba umitɬa ikjando:
8-1	※昼は仕事をして、夜は遊びに行った。	hirrja ɬikʔuɬɬi juruja asubga idzi
9-1	※今日はいとこが家に来る。	kju:ja itokoga jatɬ kjoddo:
10-1	※いとこはここには来ないよ。	itokoya kaɲɲa kondo:
11	祖父は叔父に電話をして いとこを来させた。	uɬɬuga udziji denwa ɬi itoko ko:ɬado:
12	孫も来たがっていたので来させた。	magam kʔi:buɬa ɬattu ko:ɬado:
13	叔父もいとこもバスから来た。	udzim itokom baɬɬi ɬʔa:do:
14	崖の側は危ないから、 子どもは来るな。	tɛn buɬija abnɛsaɲkaram warabiɲkja kunnajo:
15-1	※梅雨時期だからよく雨が降るねえ。	amaduk natɪ ji: amɪn ɬurɬur.ja:
16-1	※12月は雨降らないよ。	ɬiwassa ammar amija ɬurandija:
17-1	※昨日も大雨だった。	kʔiɲum u:.amɪ atadija:
17-2	※昨日も雨が降った。	kʔiɲu amɪn ɬuta
18-1	※雨が降ってきた。	amiga ɬuti ɬʔi
19	大雨が降ったので橋が流された。	u:.amiga ɬutattu haɬga nagasatti
20	太郎は毎日学校の前で バスから降りる。	taro:ja itʔum gakkon mɛ:nanti baskara urɪjuddo:

21-1	※友人がさきにバスから降りた。	duf̥ga sak baskara urita
22-1	※ここでは誰も降りない。	kumanantija tarum uriram
23-1	※木の実は熟したら自然に落ちる。	kī:nu mi:ja umba duf utijuddo:
24-1	※青いのは木を揺らしても落ちない。	o:samunna kī: jubutim utirandija:
25	木を揺らしたから、落ちた。	kī: jubutattu utitam
26	オスの馬もメスの馬も人を蹴る。	jin̥ga.umam unak.umam tʃʷu: k̥irjum
27-1	※この馬は人を蹴らない。	kun̥ umaja tʃʷu: k̥iram
28-1	※あの馬は人を蹴った。	an̥ umaja tʃʷu: k̥itam
29-1	※父は去年買ったものでも捨てている。	tʃʷanna kudu ko:tamundim sititurma
29-2	※明日は弟がゴミを捨てる。	aʃʃaja ututuga gumi sitijuddo:
30-1	※まだ使えるラジオを捨ててある。	nama tikorin̥ radzio sititi arba
30-2	※昨日は私がゴミを捨てた。	kʷijuja wa:ga gumi sititam
31-1	※祖母はどんなに古くても、捨てられない。	haɲɲija ikja ɸurusatim sitikʷirjamba
31-2	※私はあまり物を捨てない。	wanna ammar mun̥ sitirando:
32	父は壊れたラジオを弟に捨てさせた。	tʃʷanna jaburitan̥ radzio ututun̥ sitiraʃʃado:
33-1	※誰にも聞かなくて、勝手に捨てた。	tarunim kikjan̥ganuʃ katten sititarba
33-1	※このラジオをあそこに持って行って捨ててこい。	kun̥ radzio ama muʃʃidzi sititi ko:
34-1	※ノコギリで枯れた木を切ろうね。	nokoʃi karēgi kʷirjuja:
34-2	※今からノコギリで枯れた木を切る。	namara nokoʃi karēgĩba kʷirjuddo:
35	きのう枯れた木の枝を切った。	kʷijū karējuda kiʃado:
36	おじさんが一緒に切ってくれた。	udziga madzin̥ kiʃi kʷuritado:
37-1	※あのガジュマルは、こわくて誰も切らない。	an̥ gadmarrja utuʃʃati tarum kʷirjando:
38-1	※穴はスコップで掘った。	komorrja sukoppuʃi ɸuti

38-2	※今からスコップで穴を掘るよ。	namara sukoppufi komor furjuddo:
39	お父さんは掘るけど、お母さんは掘らない。	ʔanna furjumbam ammaja furando:
40	二人でとても深い穴を掘った。	tʔarʃi waro ʔukasan komor ʔutado:
41	お父さんに頼んで兄さんにも掘らせた。	ʔanun tandi aɲonim ʔurafado:
42-1	※木の実は熟しているのに、祖父は自分では落とせない。	kɪn mi:ja udumbam uʃʃuja du:ʃiɲna utuʃkʔirjam
43	祖父が父に言いつけて兄に木の実を落とさせた。	uʃʃuga ʔʔanun iʃi aɲon kɪn mi: utusafam
44	父が兄に棒で木の実を落とさせた。	ʔʔaɲga aɲon bo:ʃi kɪn mi: utusafɪ
45-1	※兄が熟んでいる木の実を全部落とさせた。	aɲoga udun kɪn mi:ja gotto utufado:
46-1	※掃除している時には荷物を外に出している。	soʃʃun kiʃiɲna nimotta sotoʃ idzafuddo:
46-2	※掃除しているから荷物は外に出す。	soʃʃunʃkaran nimotta sotoʃ idzafuddo:
47	弟も台所にあった荷物を外に出した。	ututum daidokoronan atan nimotta sotoʃ idzafɪ
48	祖母が母に言いつけてホースで水を流させた。	haɲniɲa amman iʃi ho:suʃi miʔ nagasafɪ
49	母が花子にホースで水を流させた。	ammaga hanakon ho:suʃi miʔ nagasafɪ
50	父が兄に言いつけて祖父を起こさせた。	ʔʔaɲga aɲon iʃi uʃʃu udumasafɪ
50-1	※父が兄に言いつけて弟を起こさせた。	ʔʔaɲga aɲon iʃi ututu wʔi:safɪ
51	父が兄に寝ている祖父を起こさせた。	ʔʔaɲga aɲon jasmotun uʃʃuba udumasafɪ
51-1	※父が兄に寝ている弟を起こさせた。	ʔʔaɲga aɲon niptun ututuba wʔi:safɪ
52	兄が寝ていた祖父を起こした。	aɲoga jasmotutan uʃʃu udumafɪ
52-1	※兄が寝ていた弟を起こした。	aɲoga niptutan ututuba wʔi:ʃi
53-1	弟は左利きだけどお箸は右手で持つ。	ututuja ʃidzargik ambam haʃiɲa miʃiʃi muʃfuddo:
54	汁鍋はこぼれやすいから、片手では持つな。	ʃinnabɛja kuburiʃassanʃkaran katatiʃiɲna mutnajo:
55	おにぎりの入った重箱はお母さんが持った。	niɲirimeʃin itʃun dʒo:bakka ammaga mutʃado:
56	おばあさんにはお茶を持ってもらった。	haɲniɲna ʃa: mutʃi murati

57-1	※弟にはムシロを持たせる。	ututujna muʃrju mutafjuddo:
58	重いけどもって持てる？	upsambam janar muʃkʲijna
59	あと一つだったら持てる。	ato tʲitta mutarim
60	いつも豚肉はお父さんが買う。	itʲum wʲa:ja ʃʲaŋga ko:jom
61	他には何も買わない。	ʃukarja num kom
62	お父さんは昨日は野菜を買った。	ʃʲanna kʲiju jasē ko:ti
63	明後日が給料日だから明日は買えない。	asatiŋa kʲju:rjo:bi dʒaŋkaran aʃaja ko:ram
64	明後日だったら欲しいものが買える。	asati narbaja ʃuʃan muŋga ko:rīm
65	お父さんは取ってきた魚を売る。	ʃʲanna tuti ʃʲan jʲu:ba urjum
66-1	※きょうは魚が少ないから、売れない。	kju:ja jʲu:ga ikʲirjasanʒkaran uraram
66-2	※お前には売れない。	urajna urando:
67	昨日は私が取ったイカとタコを売った。	kʲijuja wa:ga tutan ikjatu to: utam
68	その魚を安く売ってください。	kun jʲu: jassaʃi uti kʲuriranna
69	いつもおばあちゃんは私にお金をくれる。	itʲum haŋnija wanun kaniggwa kʲurijuddo:
70	今日は弟にも1000円くれた。	kju:ja ututujnim ʃenjen kʲuritado:
71	おじいちゃんは私に何もくれない。	uʃʃuja wanujna num kʲuriram
72	いつも漁師から魚をもらう。	itʲum iʃuʃanne:ra jʲu: jerjom
73	小さいカニは誰ももらわない。	inʃan ganna tarum jerando:
74-1	※隣から大根ももらった。	tonarkara de:kuni jeti
75-1	※モズクをたくさんもらったから隣の人にあげた。	sonor waro jetaŋkaran tonannu ʃʲun kʲuritam
76	喉が乾いたら水を飲む。	nudun kawakbaja miit numjum
77-1	※私の夫は酒は飲まない。	wa: utuja sē:ja numam
78-1	※私の叔父さんは酒を欲しがるけれど病気だから飲めない。	wa: udzija sē: ʃuʃa ʃumbam bjok dʒaŋkaran numaram

79	ここの井戸水は飲める。	kun igawan mitta numariddo:
80	お母さんが入れたお茶をたくさん飲んだ。	ammaga iritan tʃa:ba waro nudi
81	乗るなら飲むな。 飲むなら乗るな。	norjomun nabbaja numna numbaja nonna
82	お母さんは赤ちゃんに おっぱいを飲ませてあげた。	ammaja aggwan tʃ'i: numatʃi
83	山羊もウシも草を食う。	çindʒam uʃim kusadu kamjun
84	山羊は濡れた草は食わない。	çindʒaja nurikusaja kamam
85-1	※家の猫が魚を食べた。	ja:nu mja:ga j'u: kadī
86	父が取った魚を猫に食われた。	tʃʔanga tuti tʃʔan j'u:ba mjan kamattī
87-1	※毎日暗くなるまで、 外で夢中で遊んだ。	itʔum kʔurak nargari sotonantī asuburītī
87-2	※今日は暗くなるまで、 外で遊ぶ。	kju:ja kʔurak nargadī sotonantī asubjuddo:
88-1	※暗くなったら、もう誰も遊ばない。	kʔurak narba ja: tarum asubam
89	昨日はいとことかくれんぼして遊んだ。	kʔiɲuja itokotu kakʔurəkunaʃi asudī
90	弟は酒を飲むと、すぐに酔う。	ututuja sē: numba sugu ji:juddo:
91-1	※昨日も酒を飲みすぎて、酔った。	kʔiɲum sē: numsuktʃi ji:tī
92	兄はどんなに飲んでも酔わない。	aɲoja ikjassa nudim ji:rando:
93	彼は酔って、寝ている。	arɲa ji:tī niptum
94-1	※たくさん飲みはしないのに酔った。	u: nummja sērammun ji:tam
95	汚れた皿とお椀はお父さんが洗う。	juɟritan massaraja tʃʔanga arajuddo:
96	私は兄さんに鍋を洗ってもらった。	wanna aɲon nabē aratī muratī
97	兄さんが私の代わりに洗ってくれた。	aɲoga wa: kawari aratī kʔurītī
98-1	※お母さんは料理を作っているから、洗わない。	ammaja dʒu:ri ʃuɲkaran arom
99	暑いときは帽子をかぶる。	attan kiʃinna buʃ kabrjuddo:
100-1	※今は誰もくば笠をかぶっていない。	namaja tarum kubagasa kapturando:

100-2	※私はくば笠をかぶらない。	wanna kubagasa kabrando:
101-1	※昔はみんなくば笠をかぶった。	mukaŋŋa gotto kubagasadu kaptutado:
101-2	※私は昨日くば笠をかぶった	wanna k <sup>?</sup> ɪnu kubagasa kaptado:
102	いとこたちには帽子をかぶらせた。	itokoŋkjan buŋ kabrafado:
103-1	※私は毎年孫たちにお年玉をあげている。	wanna maitoŋi maganŋjan otoŋidama k <sup>?</sup> urituddo
103-1	※私は孫たちにお年玉をあげる。	namara maganŋjan otoŋidama k <sup>?</sup> urijuddo:
104	去年はみんなに千円ずつあげた。	kuduja gotton ŋenŋendut k <sup>?</sup> uritam
105	来年は二千元ずつあげよう。	janija niŋenŋendut k <sup>?</sup> uriramba
105-1	※お前にお年玉をあげようね。	uran otoŋidama k <sup>?</sup> uriruja:
106	お菓子も買ってあげよう。	k <sup>?</sup> wajim ko:ti k <sup>?</sup> uriruja:
107-1	※祖父は毎日6時には起きている。	uŋŋuja it <sup>?</sup> um rok <sup>?</sup> udziŋna udududdo:
107-2	※私は明日6時に起きる。	wanna aŋa rok <sup>?</sup> udzin w <sup>?</sup> i:juddo:
108-1	※祖父は9時に寝て、8時に起きた。	uŋŋuja k <sup>?</sup> udzin jasmoti haŋidzin ududi
108-2	※弟は9時に寝て、8時に起きた。	ututuja k <sup>?</sup> udzin niŋti haŋidzin w <sup>?</sup> i:ti
109	5時には誰も起きない。	godziŋna tarum w <sup>?</sup> i:ram
110	高校生は制服を着る	ko:ko:ŋeija ŋeiŋuk <sup>?</sup> u k <sup>?</sup> irjuddo:
111	その服は古いから誰も着ない。	un ŋuk <sup>?</sup> uja ŋursanŋkaran tarum k <sup>?</sup> irjando:
112-1	※昔は自分で織った芭蕉布を着ていた。	mukaŋŋa duŋ utan baŋagin kiŋfutado:
112-2	※昨日芭蕉布を着た。	k <sup>?</sup> ɪnu baŋagin kiŋŋam
113	その子は二歳になったから 自分で服を着られる。	kun k <sup>?</sup> wa:ja t <sup>?</sup> at natattu duŋ ŋuk <sup>?</sup> u k <sup>?</sup> irik <sup>?</sup> iddo:
114	ざぶとんにはいとこが座る。	un dabtonnaŋna itokoga irjum
115	床にはだれも座らない。	jukanaŋna tarum irjam
116	私たちはここに座るから きみたちは向こうに座れ。	wakjaja kunnan irjuŋkaran urakjaja ama iri

117	きみもざぶとんに座ってください。	uram dabtonnan ifi k <sup>2</sup> uriri
118-1	※私は今日はテレビを見る。	wanna kju:ja terebi mirjum
119-1	※最近クジラが見られない。	konogoro gudzirjaga mirjaram
119-2	※私は今日はテレビは見ない。	wanna kju:ja terebija mirjam
120-1	※昨日はクジラを見た。	k <sup>2</sup> ijuja gudzirja mi <sup>2</sup> fi
121	お前も見たかったら見ろといって、孫に見させた。	uram mi:bu <sup>2</sup> farba miri <sup>2</sup> fi ifi magan mi <sup>2</sup> fitado:
122-1	※池地は猫のことをミヤッチュと言う。	iki <sup>2</sup> d <sup>2</sup> ija nekon kutu m <sup>2</sup> jat <sup>2</sup> fudd <sup>2</sup> ija:
122-2	※私が言おうね。	wa:ga j <sup>2</sup> u:ji:
123	兄は何も言わない。	a <sup>2</sup> noja nu <sup>2</sup> fi <sup>2</sup> m j <sup>2</sup> am
124	お母さんは弟に「あやまれ」と言った。	ammaja ututu <sup>2</sup> n nege se <sup>2</sup> re <sup>2</sup> fi ifam
125	兄は弟に「いたずらするな」と言って、しかった。	a <sup>2</sup> noja ututu <sup>2</sup> n <sup>2</sup> na te <sup>2</sup> mu <sup>2</sup> kar se <sup>2</sup> na <sup>2</sup> fi ifi ifam
126	弟は兄に「ばか」と言ってしまった。	ututuja a <sup>2</sup> no <sup>2</sup> n baka <sup>2</sup> fi if <sup>2</sup> arba
127	蝉はすぐに死ぬ。	amagakka sugu fi <sup>2</sup> nuddo:
128	人に「死ね」って言ってはいけない。	fi <sup>2</sup> un fi <sup>2</sup> nifi ifi <sup>2</sup> ja ikjando:
129-1	※蜘蛛はすぐには死なない。	kubuja sugun <sup>2</sup> na fi <sup>2</sup> nando:
130-1	※去年は日照りの年でカエルがたくさん死んだ。	kuduja ci <sup>2</sup> dordu <sup>2</sup> fnati bik <sup>2</sup> iga waro fi <sup>2</sup> dzi
131	暑くて、家のネコも死んでしまった。	ti <sup>2</sup> r <sup>2</sup> phi <sup>2</sup> ti jan mjam fi <sup>2</sup> dzarba
131-1	※家のネコが死んで子供がかわいそうがって泣いた。	jan mja:ga fi <sup>2</sup> dzi k <sup>2</sup> wa:ga k <sup>2</sup> imofag <sup>2</sup> esa fi <sup>2</sup> na <sup>2</sup> fi
132	この村には港がある。	kun burakna <sup>2</sup> n <sup>2</sup> na funatikibaga am
133	昔島には製糖工場があった。	muka <sup>2</sup> f <sup>2</sup> fi <sup>2</sup> mana <sup>2</sup> n <sup>2</sup> na satajadorga ati
134	製糖工場のあったところに学校を建てた。	feito:ko:ban atan doronan gako: t <sup>2</sup> ukti
135	お金があればなんでも買える。	kanisai arba nu:dim ko:rim
136	今日はお金が無いから買いたくても買えない。	namaja kaniga ne <sup>2</sup> nkaran fu <sup>2</sup> fatim ko:ram

137	人の命は金では買えない。	ʃʷun inotʃa kanĩʃĩŋŋa ko:ram
138-1	※金があっても喜ぶな。	kanĩga amʃĩʃĩ jurkubna
138-1	※金がなくても残念がるな。	kanĩga nẽmʃĩʃĩ kʷujamnajo:
140-1	※人間の良し悪しはいずれ分かる。	ʃʷu:nu jĩʃʷawassaja atoja wakajum
141	塩がない。	maʃon nẽmba
142	かまどの上にあったよ	maʃoja kamadon wʷi:nan atado:
143	砂糖もなかった。	satam nẽntadija:
144	無ければわたしが買ってこよう。	nẽmba wa:ga ko:tĩ kjo:mĩ
145	座敷には人がたくさんいる。	daʃĩknaŋŋa ʃʷu:ga waro ur
146-1	※もうしばらくあそこにいてください。	ja: ittuk amanan omojotĩ taborẽ
146-2	※しばらく台所にいてくれ。	ja: ittuk annan utĩ kʷurĩrĩ
147	さっきまで座敷に人がいた。	saggadi daʃĩknan ʃʷu:ga utamundo:
148	座敷にいた人たちがみんな帰った。	dasʃĩknan utan ʃʷu:ja gotto modotĩ
149	みんなかえって今はだれもいない。	gotto modotĩ tarum uram
150-1	※私たちの若いころは 名瀬まで歩いた人がいた。	wa:kja wa:san koroja nasẽgadi atʃʷan ʃʷu:nu utado:
151	兄はお父さんに言われたら、何でもする。	aŋoja ʃʷʷanun jʷa:rba nu:dĩm ʃom
152	兄は言われなければ、何もしない。	aŋoja jʷa:rba num sẽrando:
153	兄はしなさいと言われたから、 畑仕事をした。	aŋoja sẽrẽʃĩ jʷattĩ hatĩkadĩ ʃĩ
154	お父さんは兄に畑仕事をさせた	ʃʷʷanna aŋon hatĩkadĩ ʃĩmitĩ
155	休んでないで仕事をしろ。	jo:tĩbẽri uraŋganuʃ ʃikʷussẽrẽ
156	木の葉が詰まって 溝の水が流れない。	kĩn ʃaga tʷumatĩ midzumĩdga nagarẽram
157	お母さんが兄さんに木の葉を取らせて 水を流れさせた。	ammaga aŋon iʃĩ kĩnʃa turatʃĩ midzon mĩt nagaʃʷam
158	兄さんは木の葉を取って水を流れさせた。	aŋoja kĩn ʃa tutĩ midzon mĩt nagaʃʷam

159	ようやく(やっと)水が流れた。	jatto mīdga nagaritam
160	この井戸水は飲めない。	kun igawamitta numaram
161	誰でもこんなにたくさんの水は 飲みきれない	tarum kassan mitta numk <sup>?</sup> irjam
162	あく抜きした蘇鉄は食べられる。	aknuk fan fenna kamarim
163	腐った肉は食べられない。	kusarētun nik <sup>?</sup> uja kamaram
164-1	※まだ残っているけど食べれる？	nama no:tumun kamik <sup>?</sup> ijna
165-1	※もうお腹がいっぱいになって 食べきれない。	na: watan mitfī kamik <sup>?</sup> irjam
166-1	※たくさんお茶を注いでくれ。	u:u:tu ŋa: iritī k <sup>?</sup> urīrī
167-1	※湯が沸くまで待ち遠しい。	ju:nu waggadī matnagēsa
168-1	※子どもには見せたくなかったけど、 見るって聞かなかったから、見せた。	warabijna miŋibuŋika nēntamun mirjumfī kikjantaŋkaran miŋitī
169	三味線を弾いて友達に聞かせる。	samfer ɕitfī duŋin kikjaŋfī
170	おととい買った服を赤ちゃんに着せる。	uttī ko:tan ɸuk <sup>?</sup> uba akaggwan kosētī
171	おばあさんは自分が買った服を お母さんに頼んで赤ちゃんに着させた。	haŋnija ko:tī ŋ <sup>?</sup> an ɸuk <sup>?</sup> uba amman iŋfī akaggwan kosēraŋam
172-1	※祖母が自分で着せたいと言ったので、 祖母に着せさせた。	haŋniga kosēbuŋamfī iŋfattu haŋnin kosēraŋam